

広島市の集団食中毒発生状況(平成 20 年度)

生 物 科 学 部

は じ め に

平成 20 年度の主要な集団食中毒の病原検索結果の概要を報告する。

方 法

1 食中毒発生状況

広島市保健所で調査集計した食中毒事例のうち、患者 4 人以上のものについて、生物科学部で検出し、病因物質として確定された原因微生物と患者数、原因食品、病因物質、原因施設、発生概要等をまとめた。なお、資料は広島市保健所から提供

して頂いた。

2 病因物質の検索

広島市保健所で採取し、当部に搬入された食品、患者便、器具類の拭き取り検体、従事者便などについて細菌およびウイルス検査に供試した。

結 果

1 食中毒発生状況

平成 20 年度の患者 4 人以上の食中毒の発生状況について表にまとめた。

表 平成 20 年度の広島市における集団食中毒の概要および病因物質

発生月	原因施設	患者/ 喫食者	原因食品	病因物質	事件の概要
4月	給食 (医療機関)	41/222	不明 (4月2日に提供された食事)	<i>Clostridium perfringens</i> (HobbsUT, <i>cpe</i> +)	給食を喫食して 41 人が発症。症状は下痢で、潜伏時間は 12.8 時間。患者 5 人、従事者 2 人の便からウェルシュ菌(血清型 Hobbs UT・エンテロトキシン産生)を検出。
4月	飲食店	24/不明	不明	Norovirus G II / 4	老人ホームの料理を喫食して 24 人が発症。症状は下痢・嘔吐で、潜伏時間は不明。患者 7 人、従事者 2 人、スワブ 1 検体からノロウイルス G II を検出。
5月	飲食店	6/15	不明 (コース料理)	<i>Campylobacter jejuni</i> (LIO 型 UT)	飲食店の料理を喫食して 6 人が発症。症状は下痢・発熱・腹痛で、潜伏時間は 53.7 時間。患者 3 人の便からカンピロバクター (LIO UT血清型)を検出。
6月	飲食店	12/33	不明 (6月1日の仕出し弁当)	<i>Vibrio parahaemolyticus</i> (O3:K6, <i>tdh</i> + <i>trh</i> -)	仕出し弁当を喫食して 12 人が発症。症状は下痢・嘔吐・発熱で、潜伏時間は 15.5 時間。患者 2 人の便から TDH 産生性腸炎ビブリオ O3:K6 を検出。食品から TDH 非産生性腸炎ビブリオを検出。
7月	旅館 (飲食店)	9/32	不明 (7月12日に提供された昼食, 夕食)	<i>Vibrio parahaemolyticus</i> (O3:K6, <i>tdh</i> + <i>trh</i> -) (O1:K36, <i>tdh</i> + <i>trh</i> -)	旅館の料理を喫食して 9 人が発症。症状は下痢・嘔吐・腹痛で、潜伏期間は 12.5 時間。患者 2 人の便から TDH 産生性腸炎ビブリオ O3:K6, O1:K36 を検出。

発生月	原因施設	患者/ 喫食者	原因食品	病因物質	事件の概要
9月	給食（保育所）	18/175	保育園給食（南瓜サラダ）	<i>Enteropathogenic Escherichia coli</i> O128:H2 (eaeA+, bfpA-)	給食を喫食して 18 人が発症。症状は下痢・腹痛・発熱で、潜伏時間は 24.7 時間。患者 3 人の便から病原大腸菌 O128:H2eaeA 陽性を検出。食品（南瓜サラダ）からも病原大腸菌 O128:H2eaeA 陽性を検出。
9月	飲食店	24/35	不明（食事会調理品）	不明	食事会の料理を喫食して 24 人が発症。症状は下痢・嘔吐で、潜伏時間は 6.6 時間。病因物質不明。
10月	飲食店	4/4	牛レバ刺し（推定）	<i>Campylobacter jejuni</i>	飲食店の料理を喫食して 4 人が発症。症状は下痢・発熱・吐気・頭痛で、潜伏時間は 80.4 時間。患者 2 人が医療機関からカンピロバクターを検出。
11月	飲食店	6/13	不明（コース料理）	<i>Campylobacter jejuni</i> (LIO10・TCK1・TCK1/26)	飲食店の料理を喫食して 6 人が発症。症状は下痢・発熱・腹痛・頭痛で、潜伏時間は 61.7 時間。患者 3 人の便から <i>Campylobacter jejuni</i> (LIO10, TCK1, TCK1/26 血清型)を検出。
12月	飲食店	125/417	不明（12月7, 8, 10日に提供された食事）	Norovirus G II / 4	飲食店の料理を喫食して 125 人が発症。症状は下痢・嘔吐・発熱で、潜伏時間は 30.3 時間。患者 7 人、従事者 12 人の便、スワブ 2 検体および食品 3 検体からノロウイルス G II を検出。
1月	寮（学校）	24/不明	不明	Norovirus G II / 4	寮の給食を喫食して 24 人が発症。症状は下痢・嘔吐で、潜伏時間は不明。患者 4 人、従事者 3 人の便からノロウイルス G II を検出。

謝 辞

事件の調査概要を提供いただいた本市保健所食品保健課に対し深謝いたします。